



2026年2月13日

各 位

会社名 アズマハウス株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 行男
(コード番号:3293 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 真川 幸範
(TEL.073-475-1018)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月15日に公表しました2026年3月期通期の業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2026年3月期通期連結業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,920	百万円 1,260	百万円 1,180	百万円 784	円 錢 97.39
今回修正予想 (B)	11,430	980	900	600	74.53
増減額 (B - A)	△ 1,490	△ 280	△ 280	△ 184	—
増減率 (%)	△ 11.5	△ 22.2	△ 23.7	△ 23.5	—
(参考)					
前期実績 (2025年3月期)	13,279	1,230	1,152	765	95.07

(2) 2026年3月期通期個別業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,551	百万円 1,078	百万円 736	円 錢 91.48
今回修正予想 (B)	10,090	800	530	65.84
増減額 (B - A)	△ 1,461	△ 278	△ 206	—
増減率 (%)	△ 12.7	△ 25.8	△ 28.0	—
(参考) 前期実績 (2025年3月期)	11,900	1,034	700	87.06

2. 業績予想の修正理由

当社は、販売用不動産の仕入れを厳選化し、抑制することで在庫リスクの低減を図っておりました。また、仕入れを行った物件においても造成工事にかかる許認可の遅れ等による工事スケジュールの遅れにより販売開始時期への転換が不調となり、予定の受注および引渡しが予想を下回る結果となり、2026年3月期の売上および利益が通期予想に比べて減少する見込みとなりました。

また、建築費および造成工事費の高騰に対し、販売価格への十分な転嫁を行わず、消費マインドの低下を抑えるよう努力いたしましたが、物価高および住宅ローン金利の上昇、実質賃金のマイナスなどの影響を払拭するに至らなかったことも業績予想を修正する結果となりました。

なお、これらの事情を勘案し、在庫リスクの低減と高付加価値住宅による販売価格の転嫁などにより修正後の予想については、概ね計画どおりに進捗しております。

3. 配当予想と今後の見通し

上記のとおり業績予想を下方修正することとなりましたが、来期以降の業績動向や株主への安定的な利益還元を重視する観点から、前回予想の1株につき35円を据え置いております。

今後、重要な事項が発生した場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上